

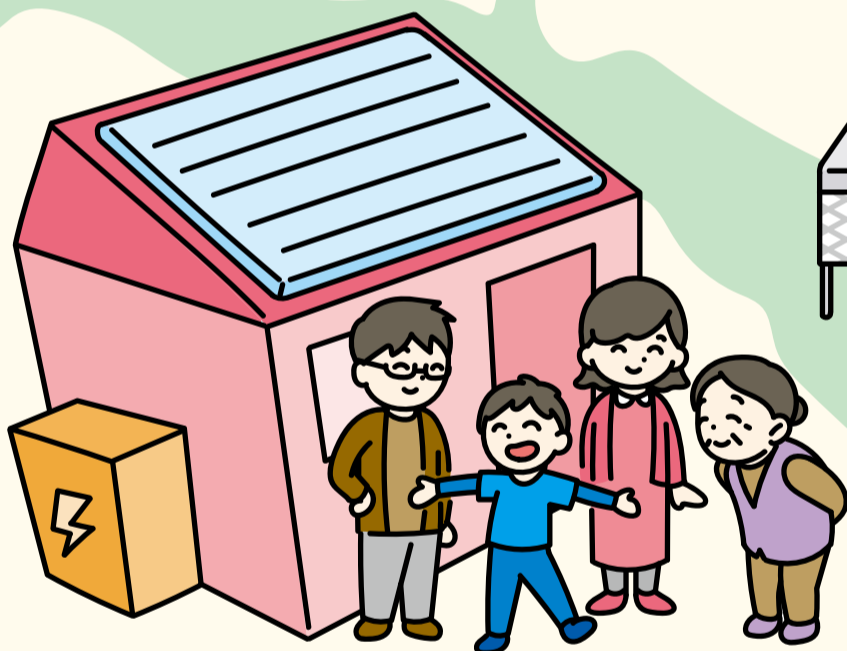


温室効果ガス

実質ゼロを目指して!

例えば、建物(自宅や会社)に太陽光パネルを設置し、発電した電気(再生可能エネルギー)を使用することで、温室効果ガスの排出量を減らすことができます。

また、太陽光パネルとともに蓄電池もセットで設置することで、停電対策にもなります。



例えば、自宅でガスを使用している方は、ガスから電気とお湯をつくるエネファームを設置することも、環境に優しい取り組みになります。温室効果ガスの排出量を削減するだけでなく、電気使用量の削減になります。

この取り組みで、これだけ温室効果ガスが削減できます
(1年間のCO₂削減量)

- 太陽光発電(3kW)を導入する 約1950kg(約40%削減) ※1
- エネファームを導入する 約1330kg(約38%削減) ※2
- 白熱電球をLED電球に交換する 約45kg
- 冷房時の室温は28度、暖房時の室温は20度を目安にする 約41kg
- 使わないときは、電気便座のふたを閉める 約17kg

※1 クール・ネット東京HP出典
※2 (一社)燃料電池普及促進協会HP出典
その他は、家庭の省エネハンドブック2022「チョットの工夫で家計も地球も笑顔に」(東京都環境局)出典

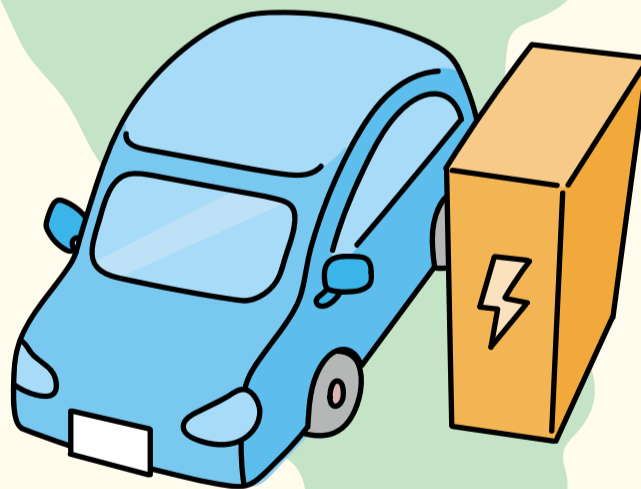
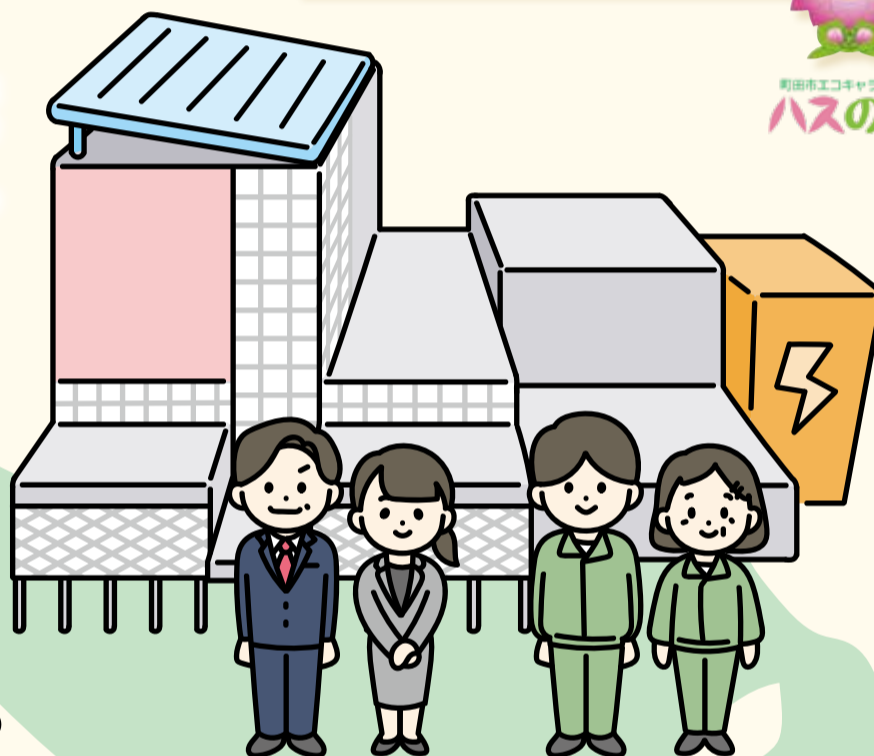
市では、2050年に温室効果ガスの排出実質ゼロを目指す環境先進都市「ゼロカーボンシティまちだ」に向け、市民・事業者とともに取り組むことを宣言しました。まずは、2030年までに温室効果ガス排出量を約33%削減することを目指しています。

市、事業者、そして市民の皆さんが協力して、脱炭素社会実現に向けて取り組んでいきましょう。

問 環境政策課 ☎724・4386



町田市エコキャラクター
ハスのん



例えば、所有している車を、走行時に温室効果ガスが出ないEV(電気自動車)やFCV(燃料電池車)にすることも環境のためにできることのひとつです。災害時等には、スマートフォンの充電や照明等外部に電力を供給できることから「動く蓄電池」としても活躍が見込めます。

一人ひとりができること、
事業者の取り組み紹介は2面で掲載



今も未来も大切に
町田市のSDGs

